

みずほCustomer Desk Report 2017/01/19 号 (As of 2017/01/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.90	1.0696	120.79	1.0030	1.2387	0.7550
SYD-NY High	114.77	1.0715	121.98	1.0077	1.2416	0.7566
SYD-NY Low	112.57	1.0629	120.67	1.0009	1.2254	0.7503
NY 5:00 PM	114.64	1.0631	121.85	1.0077	1.2265	0.7504
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.595/12.975		Δ25RR	0.763	Yen Call Over	

NY DOW	19,804.72	▲ 22.05	債券市場	日本2年債	-0.2280	▲ 0.4bp
NASDAQ	5,555.65	16.93		日本10年債	0.0570	1.0bp
S&P	2,271.89	4.00		米国2年債	1.2214	6.9bp
日経平均	18,894.37	80.84		米国5年債	1.9383	11.9bp
TOPIX	1,513.86	4.76		米国10年債	2.4296	10.4bp
シカゴ日経先物	19,060	285.00		独10年債	0.3550	3.4bp
ロンドンFT	7,247.61	27.23	為替市況	英10年債	1.3360	2.7bp
DAX	11,599.39	59.39		豪10年債	2.6810	▲ 1.7bp
ハンセン指数	23,098.26	257.29	商品市況	USD/CNH	6.8402	0.0379
上海総合	3,113.01	4.24		ドルインデックス	101.30	0.97
USDJPY 3M Vol	12.30	▲ 0.22%		CRB指数	193.356	▲ 1.78
USDJPY 6M Vol	12.28	▲ 0.19%		NY金	1,212.10	▲ 0.80
EURJPY 3M Vol	10.44	▲ 0.19%		WTI	51.08	▲ 1.40
EURJPY 6M Vol	12.02	▲ 0.14%		Dubai Spot	52.43	▲ 1.47

東京	シドニー時間に安値112.57をつけたものの、前日に英国のメイ首相がEU離脱の最終案は両院の採決にかけると発言したことでハードブレグジットへの過度な警戒感が和らいでいたこともあり、更なる下値追いはならなかった。その後、112円台後半で推移していたドル円は112.90レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させる中、112.64まで下落する場面も見られた。しかし、実需等によるドル買いが散見される中、ドル円は113円台を回復。午後に入っても113円台前半を中心としたレンジ推移が継続。引けにかけては、日経平均株価が前日比100円高まで上昇すると、ドル円も113.36の東京時間高値をつけた。結局ドル円は113.30レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113円台半ばで小動き。朝方は113.30レベルでオープン。海外時間にイレブンFRB議長の講演を控えて様子見ムードも漂う中、総じて小動きとなった。結局ドル円は113.50レベルでNYへ渡った。ポンドドルは終始軟調推移。朝方は1.2333レベルでオープン。前日の上昇に一服感が出る中、ロンドン時間序盤から全般的なポンド売りの展開となり、ポンドドルは1.22台後半まで下落。結局ポンドドルは1.2275レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	連日のドル売り地合いが一服する中、ドル円は海外時間安値の112.57から上昇し、113.50レベルでNYオープン。朝方発表された米12月CPIは予想と一致したことから市場への影響は限定的。その後も米12月鉱工業生産が前月比+0.8%と予想(同+0.6%)を上回ったが、前回分が下方修正されたことからドル円相場への影響は限定的で、113.40を挟んでのレンジ推移が続いた。午後に公開されたベージュブックで「労働市場は引き締まった状態で推移し、賃金は緩慢なペースで上昇した」と記載されていたことでドルが強含み、ドル円は113.69まで上昇。その後行われたイレブンFRB議長の講演では現在の米経済状況について「FRBの二大目標(完全雇用と2%インフ)の達成に近い」と2017年の利上げ見通しをサポートする発言がなされた。これを受けて米長期金利の上昇と共にドル買いが強まり、ドル円は高値114.77まで急伸し、114.64レベルでクロスした。一方ユーロは1.0666レベルでNYオープン。1.0680を挟んでの方向感に欠く推移が続いたが、イレブン議長の発言を受けてドル買いが強まり、1.0629まで下落し、1.0631レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月18日	16:00	独 CPI・確報(前月比/前年比)	12月 0.7%/1.7%	0.7%/1.7%
	18:30	ILO失業率(3ヶ月)	11月 4.8%	4.8%
	19:00	欧 CPI・確報(前月比/前年比)	12月 0.5%/1.1%	0.5%/1.1%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.1%	0.3%/2.1%
	22:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	12月 0.2%/2.2%	0.2%/2.1%
1月19日	23:15	米 鉱工業生産(前月比)/設備稼働率	12月 0.8%/75.5%	0.6%/75.4%
	0:00	金融政策決定会合 翌日物貸出金利	- 0.50%	0.50%
	4:00	米 ベージュブック	-	-
	5:00	米 イエレン・FRB議長 講演	-	-

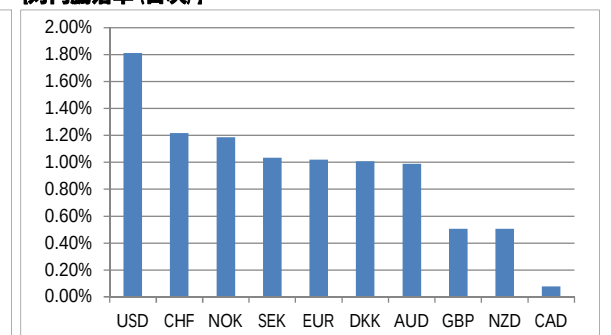
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月19日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	9:30	豪 雇用者数変化/失業率	12月 10.0K/5.7%	39.1K/5.7%
	21:45	欧 ECB理事会・ECB主要政策金利	- 0.000%	0.000%
	22:30	欧 ドラギ・ECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	12月 1,188K/1,225K	1,090K/1,212K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 252K	247K
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	1月 15.3	19.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.30-114.80	1.0600-1.0660	121.40-122.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は「急反発」となった。この日、サンフランシスコで講演したイエレンFRB議長が「FRBはインフレと雇用の目標に近づきつつある」とし、FRBの金融政策による支援の水準を引き下げるのは「理にかなっている」と述べたことからドル買戻しの動きを誘発。さらに、この日発表された昨年12月の米消費者物価指数(CPI)の上昇も重なり、1ドル=114.77円まで上昇した。本日は「上値の重い展開」を予想。明日(20日)に米大統領就任式を控えていることもあり、投資家の様子見姿勢が強まる。足もとでは、トランプ次期大統領によるドル高けん制発言が聞かれていることも意識され、積極的な上値追いは回避されよう。総じて上値の重い展開を予想する。